

四條畷市が令和2年度から実施している、電気自動車を用いた自動運転サービスの運用に向けた路車協調システムの導入のサポートをしています。

## 自動運転車両

<使用車両>



- 開発: 名古屋大学
- 定員: 7人(乗客6人)
- 速度: 19km/h程度(自動運転)
- 導入台数: 1台
- 運転手: 地域ボランティア(事前に運転講習を実施)

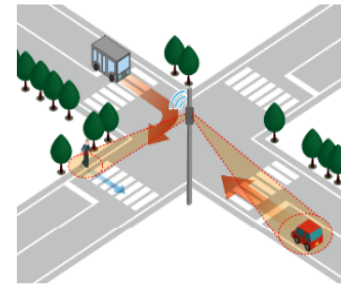
## 体制

実証実験主体	四條畷市
サービス	地域内移動の支援、地域拠点の賑わい創出
運賃	無料
運行ルート	田原地域の拠点となるグリーンホール田原と田原台センターを反時計回りに運行

## 路車協調システム

### 路車協調(交差点センサ等)

#### 概要



交差点等における道路状況の自動運転車への情報提供に関する実証実験

#### 実験主体

地方整備局等  
(路車協調システムの機器調達・設置、技術的検証)

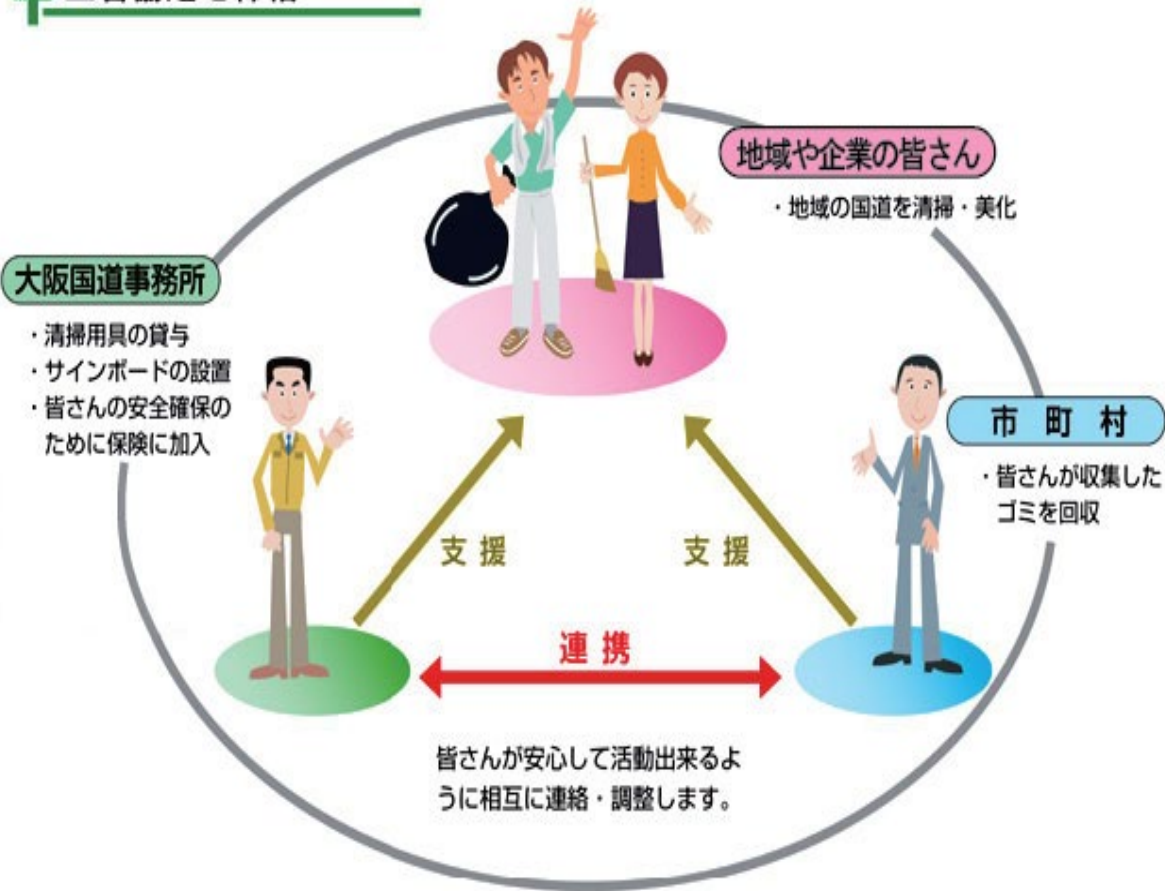
#### 内容

- ・ システム設置、自動運転車への情報提供
- ・ 効果検証(車両ログ等の活用)
- ・ 実験結果とりまとめ

引用元: <https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001712215.pdf>

国道の美化清掃等を実施する地域や企業の皆さんで構成するボランティア団体（令和6年3月末現在 79団体）と協定を締結し、皆さんと共に快適な道づくりを進めています。

### 三者協定を締結

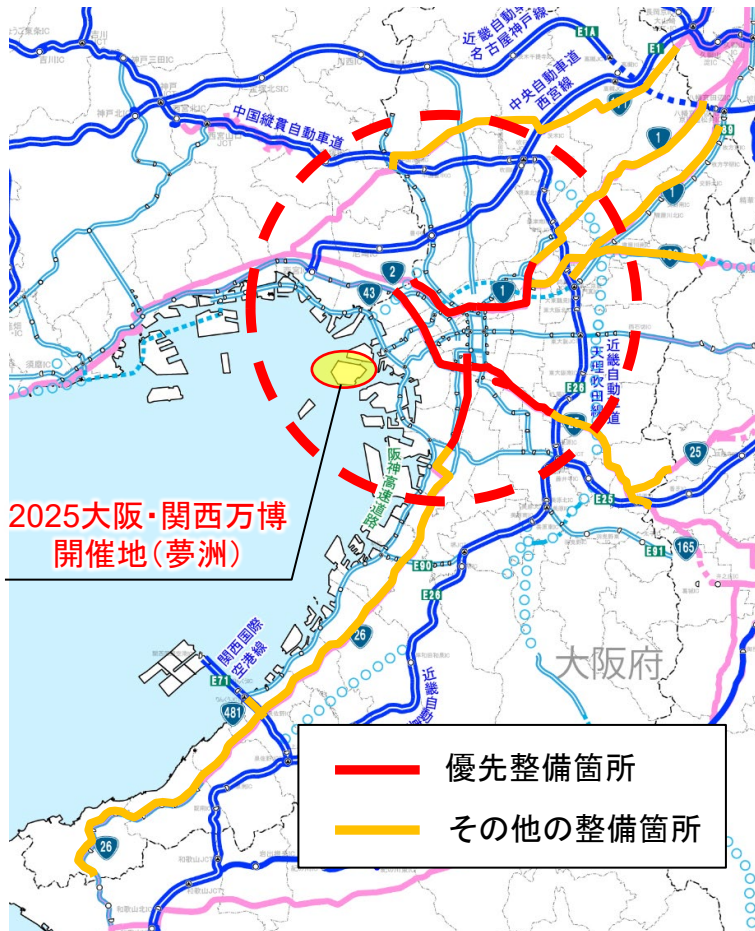


### ～活動状況～



- ・電線共同溝の蓋に、鍵付き内蓋を設置し、防犯性能を高めます。
- ・市内国道沿いの街路樹は、樹形が良好な状態になるよう剪定を実施します。

## ■優先整備路線国道1号、2号、25号、26号、43号



— 良好な状態の街路樹 (イメージ) —



「道の駅」は、便利で質の高いサービスの提供を目指し、道路利用者の休憩施設であるとともに、地域のふれあいの場として、また、観光・防災への新たな機能も期待されています。

## 令和5年度の取組

- ・大阪府「道の駅」スタンプラリー開催  
開催期間：2023年10月1日（日）～2024年2月12日（月）
- ・曽根崎地下歩道にて「道の駅」のポスター掲示、パンフレット設置（随時）

### 広報ポスター

